中学歴史プリント（書き取り）
弥生時代 No.2

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／20

1. 弥生時代に大陸から伝わり、実用品ではなく主に祭祀の道具として使われた青銅器のうち、釣鐘のような形をしたものを何という？ ＿＿＿＿＿＿
2. 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？ ＿＿＿＿＿＿
3. 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？ ＿＿＿＿＿＿
4. 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？ ＿＿＿＿＿＿
5. 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？ ＿＿＿＿＿＿
6. 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？ ＿＿＿＿＿＿
7. 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？ ＿＿＿＿＿＿
8. 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？ ＿＿＿＿＿＿
9. 57年に奴国の使者が訪れ、金印を授けたとされる後漢の皇帝を何という？ ＿＿＿＿＿＿
10. 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？ ＿＿＿＿＿＿
11. 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？ ＿＿＿＿＿＿
12. 江戸時代に金印が発見されたと伝えられている、現在の福岡県にある島は何という？ ＿＿＿＿＿＿
13. 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？ ＿＿＿＿＿＿
14. 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？ ＿＿＿＿＿＿
15. 稲作が普及して富や権力に差が生まれた弥生時代、地域をまとめる存在として現れたまとまりを何という？ ＿＿＿＿＿＿
16. 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式の道具として発展した？ ＿＿＿＿＿＿
17. 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？ ＿＿＿＿＿＿
18. 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？ ＿＿＿＿＿＿
19. 弥生時代の日本が、中国の王朝へ進んだ文化や権威を求めて使者を送り、贈り物や献上品を送る外交形式を何という？ ＿＿＿＿＿＿
20. 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？ ＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「弥生時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.2 弥生時代

言えた　／20

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	銅鐸は主に近畿地方を中心に多く出土しており、祭祀の道具として用いられました。	銅鐸	□
2	当時の日本は「百余りの小国」に分かれていたと『後漢書』などに記されています。	小国	□
3	銅鐸は、このような祭りの場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。	祭り	□
4	漢鏡は、中国の漢王朝で鋳造された銅鏡で、高い鋳造技術による精巧な文様が特徴です。	漢鏡	□
5	青銅器は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに鋳造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。	青銅器	□
6	金属器には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。	金属器	□
7	高温で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。	高温	□
8	ローマ帝国は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。	ローマ帝国	□
9	光武帝は、57年に九州の奴国から訪れた使者に対し、朝貢の返礼として金印を授けました。	光武帝	□
10	吉野ケ里遺跡は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。	吉野ケ里遺跡	□
11	『後漢書』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。	後漢書	□
12	福岡県の志賀島で、農作業の最中に石の間から金印が発見されたと伝えられています。	志賀島	□
13	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の志賀島で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。	志賀島	□
14	鉄器は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。	鉄器	□
15	この争いに勝った有力者が周辺の集落を統合し、「クニ」と呼ばれる政治的なまとまりを作りました。	クニ	□
16	青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものも多く、主に祭祀の場で神聖な道具として使われました。	祭祀	□
17	銅鐸は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。	銅鐸	□
18	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である後漢の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。	後漢	□
19	朝貢は、中国の皇帝に対して周辺諸国の支配者が使者を派遣し、贈り物（貢ぎ物）を差し出す外交儀礼です。	朝貢	□
20	卑弥呼は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。	卑弥呼	□

言えなかった用語ノート